

パークストッパー施工要領書

ターフパーキングTP-2に施工する場合

*パークストッパーの施工は、ターフパーキング・六角マーカ―設置、客土投入整地完了後、又は、芝生転圧完了後に施工してください。

1. パークストッパーの位置決め

図-1のような目安で施工位置を決めます。ターフパーキング本体突起部分に専用釘が重ならない位置を選択してください。

障害物と車両の接触を防ぐために、前方障害物からは1100mm以上の間隔をあけてください。

パークストッパーの施工幅は、一般乗用車(軽自動車、小型車、普通車)を目安としています。外国車、8ナンバー車などでは施工幅があわない場合もあります。

2. パークストッパーの固定

専用釘(L=300)を対角線ごとに施工位置がずれないように、少しずつ打ち込みます。ずれがなければ、完全に打ち込みます。このとき本体にハンマーが当たるのを防ぐために当て金等を使用してください。

3. ボルトキャップの施工

専用ボルトキャップをはめ込んでください。

パークストッパー

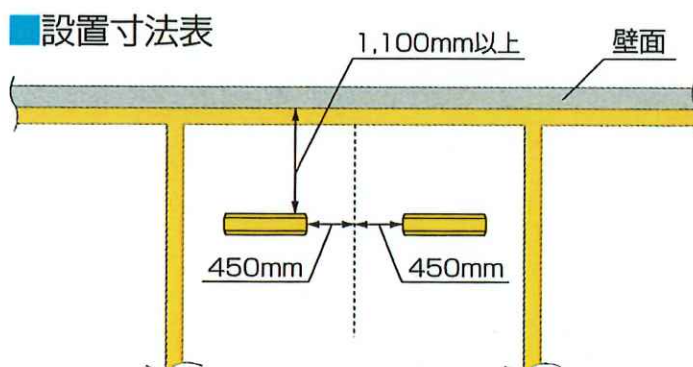
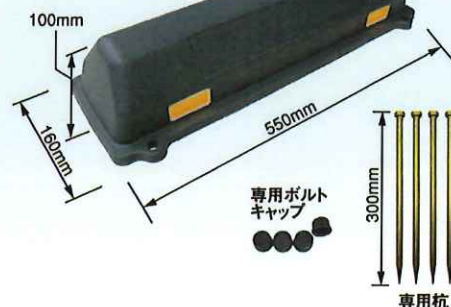


図-1 パークストッパー施工位置



コンクリート下地に施工する場合

1. パークストッパーの位置決め

図-1のような目安で施工位置を決めます。障害物と車両の接触を防ぐため、前方障害物からは1100mm以上の間隔をあけてください。パークストッパーの施工間隔は、一般乗用車(軽自動車、小型車、普通車)を目安としています。外国車、8ナンバー車などでは施工幅があわない場合もあります。

2. 下穴の施工

仮置きしたパークストッパーがずれないように押さえながらコンクリートドリル(φ10.5mm)で深さ50mmの下穴を施工します。(図-2a) 開けた穴にアンカーボルトを差込み、図-3の順で駆り固定を行います。

3. パークストッパーの固定

アンカーボルトをパークストッパーの留め穴まで完全に押込み、ハンマーでピンを叩き込みます。このとき本体にハンマーが当たるのを防ぐため当て金等を使用してください。

アンカーボルトを固定後、ナットを増し締めして施工完了です。(図-4)

4. ボルトキャップの施工

専用ボルトキャップをはめ込んでください。

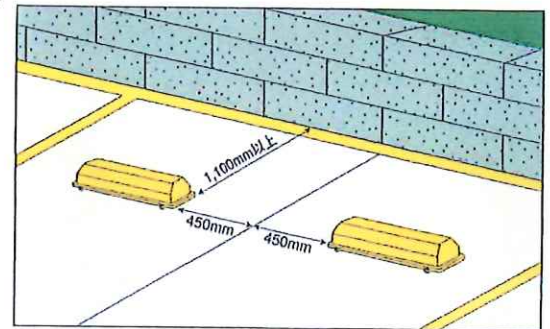


図-1 パークストッパー施工位置

アスファルト下地に施工する場合

1. パークストッパーの位置決め

コンクリート下地の場合と同様に施工位置を決めます。

2. 下穴の施工

仮置きしたパークストッパーがずれないように押さえながらコンクリートドリル(φ10.5mm)でアスファルトの厚み以上(120mm以上)の下穴を施工します。(図-2b) 開けた穴にアスファルト用専用釘を施工位置がずれないように図-3の順で仮固定を行います。

3. パークストッパーの固定

仮留めしたアスファルト専用釘をハンマーなどで完全に打ち込みます。このとき本体にハンマーが当たるのを防ぐため当て金等を使用してください。

4. ボルトキャップの施工

専用ボルトキャップをはめ込んでください。

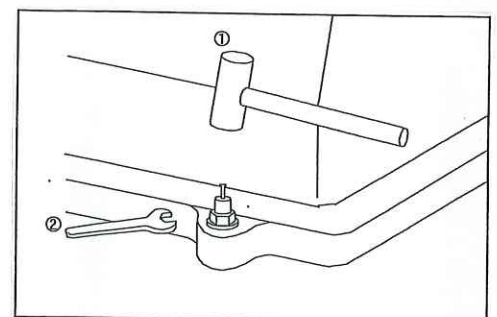
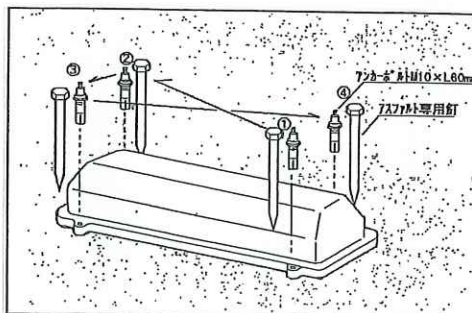
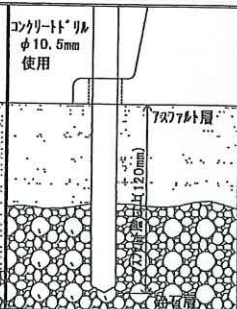
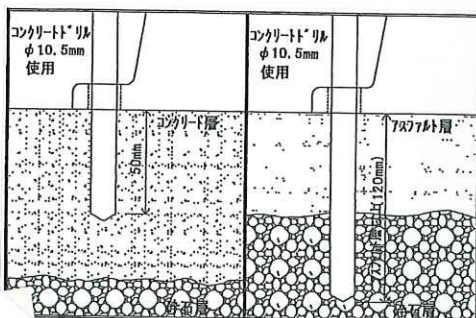


図-2aコンクリート下穴

図-2bアスファルト下穴

図-3アンカーボルト、釘の対角施工

図-4パークストッパーの固定

<使用上の注意>

駐車場が崖などの段差のある場所に接している場合は、安全の為にコンクリート製の車止めをご使用ください。コンクリート下地、アスファルト下地では固定部品が違いますので専用部品での設置をお願いします。